

「携帯電話&デジカメ充電器」をお買い上げいただきましてありがとうございます。本取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取扱説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。

携帯電話機でご使用する場合

デジタルカメラで、使用する場合は裏面をよくお読みの上、ご使用ください。

警告

指定乾電池以外は使用できません。

単4型アルカリ乾電池以外の電源は絶対に使用しないでください。

分解、改造などは絶対に行わないでください。

それらに起因する故障、トラブルにしましては当社では一切の責任を負いかねます。

特長

携帯電話機の電池切れを待つ必要がなく、いつでも使える過充電防止付急速充電器です。使用電池は容易に入手できる単4型アルカリ乾電池を4本。電池交換式ですから半永久的に使えます。

携帯電話機が電池切れの緊急時から使用して、30分～最長約2時間(ドコモP504i、当社実測値)連続通話できます。携帯電話機の機種や電池パックの消耗状態によって異なります。

使用方法

本体裏の電池蓋をスライドさせてははずし、単4型アルカリ乾電池4本を入れます。必ず4本とも新品の同じブランドの乾電池をご用意ください。電池蓋の刻印に従い、+の極性を間違わないようにご注意ください。

必ず、携帯電話機の電源を切ったからコネクターを携帯電話機の充電用端子に接続します。しっかりと奥まで挿入してください。

接続する際、携帯電話機の向きにご注意ください。適合表に黒文字で記載した電話機は、本製品の黒シールが電話機の表面に向くように接続されますが、赤文字記載の電話機では、本製品の赤シールが電話機の表面に向きます。この向きを間違えますと、メモリーが消失したり電話機本体や電池パックが破損する危険がありますので絶対にお守りください。

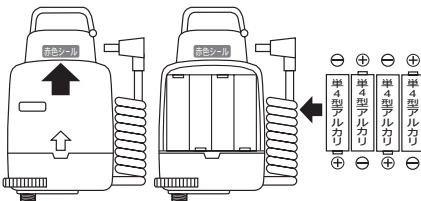
必ず、本体のスイッチ2を5Vに合わせ、スイッチ1をONにしてください。

携帯電話機の電源は必ず、5分待ってから入れてください。

携帯電話機が電池切れの状態から充電した場合1回の充電では満充電まで達しません。機種によって異なりますが、電池パックの7～9割まで充電できます。

使用すること乾電池を使い切るまで充電せず、通話、待ち受けなど必要な時間だけ使用すれば、乾電池を何回かに使い分けすることができ経済的です。

使用すること乾電池は減っていきますのでご注意ください。



注意：スイッチ位置を誤った場合、携帯電話を正しく充電することができません。

ほとんどの携帯電話機は、電池切れの状態で使用しても、即通話可能ですが、一部動作が安定しない機種がありますので接続後5分待ってから携帯電話機の電源を入れてください。

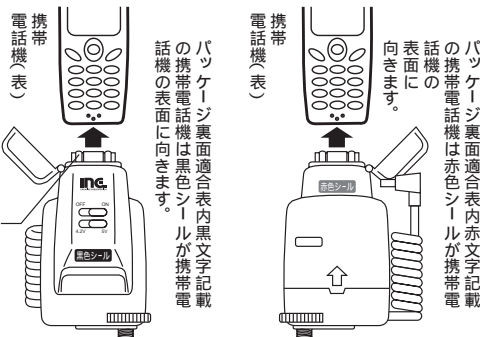
一部携帯電話機では充電表示ランプが点灯しません。
三菱製携帯電話機で本製品を使用中、画面に「！」マークが出ましたら、電話機の充電表示が「充電中」を示しても、電話機からはずし使用を中止してください。電池の能力が不足していますので新品の乾電池に交換して再度充電してください。

絶対に逆向きに接続しないでください。

J-SA・・・(Jフォン)、TS・・・(ツーカー)などサンヨー製携帯電話機は指定と逆向きに入りやすく特にご注意ください。

接続方向

お使いの携帯電話機により本製品との接続方向が異なりますので、適合表にてお使いの携帯電話機をご確認の上、ご使用ください。



使用上のご注意

携帯電話機とデジタルカメラを同時接続してのご使用は絶対にしていません。

携帯電話機では連続2時間以上は使用しないでください。乾電池は、連続使用約1時間30分から2時間で充電能力がなくなります。2時間以上携帯電話機に接続したまま放置しますと、電話機の電池パックが放電する可能性があります。ポケットやバッグの中に入れてそのまま使用しないでください。部分的に大きな力がかかりますと、接触不良を起こしたりトラブルの原因となります。

充電状態は携帯電話機でご確認ください。長時間充電しても携帯電話機の電池レベルが上がらない場合は一度電話機の電源を切り再度立ち上げてください。データ通信では、乾電池の消費量が大きくなることがあります。メールなどデータ通信を行いますと、通常の通話に比べて使用できる時間が短くなることがあります。また、データ通信中、携帯電話機の電源が切れ、新品の乾電池に交換して本製品を使用しても電話機の電源が入らない場合は、電話機付属の充電器を使用してください。電池パックが「完全放電」状態では使用できないこともあります。一部携帯電話機では、電池切れのまま放置し、電池パックが完全に放電してしまいますと、電話機専用の充電器で充電しないと電源が入らない場合があります。取扱説明書に従い正しく使用して電源が入らない場合は、電話機専用の充電器を使用して立ち上げてください。

NEC製携帯電話機は特にご注意ください。

携帯電話機の電池パックは必ず表向きにご使用ください。

本品のDC出力端子や入力端子に金属物や可燃性物質を入れたりしないでください。火事・感電の原因となります。

直射日光の当たる場所、高温の車中、暖房機の近くに放置しないでください。

本製品に無理な力や強い衝撃をかけるしないでください。故障・破損の原因となります。

水気の多い場所では使用しないでください。また本製品に水等の液体が入った場合にはすぐに、使用を中止してください。

感電、故障や火災の原因となります。

本製品や乾電池を小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。

使用済みの電池は各地域で定められた方法で破棄してください。

デジタルカメラでご使用する場合

携帯電話機で、使用する場合は裏面をよくお読みの上、ご使用ください。

警告

指定乾電池以外は使用できません。

単4型アルカリ乾電池以外の電源は絶対に使用しないでください。

分解、改造などは絶対に行わないでください。

それらに起因する故障、トラブルに関しましては当社では一切の責任を負いかねます。

特長

旅行先やアウトドアでの突然のバッテリー切れで、撮影ができない場合にデジタルカメラにセットするだけで撮影ができるデジタルカメラ用携帯補助外部電源です。

使用電池は容易に入手できる単4型アルカリ乾電池を4本、電池交換式ですから半永久的に入れます。SONY製デジタルカメラ用プラグ付でSONY製デジタルカメラにもご使用いただけます。

デジタルカメラへの装着は三脚用ネジ穴を使用する為、ほとんどのデジタルカメラに一本化装着することが可能です。

機種により約30分～3時間ではば満充電に達する充電器として使用する事ができます。充電可能機種については適合表をご覧ください。一部デジタルカメラの機種により一回の使用で満充電に達しない機種があります。

使用方法

本体裏の電池蓋をスライドさせてははずし、単4型アルカリ乾電池4本を入れます。必ず4本とも新品の同じブランドの乾電池をご用意ください。電池蓋の刻印に従い、+、-の極性を間違わないようにご注意ください。デジタルカメラの三脚固定用ネジ穴を利用し、本製品を固定してください。

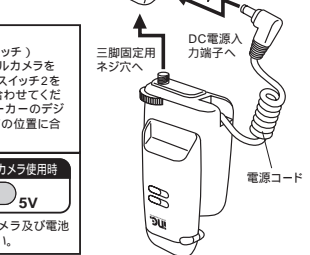
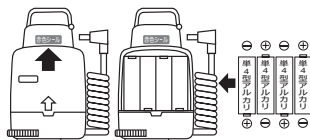
SONY製デジタルカメラをご使用の場合は本製品付属のSONY製デジタルカメラ用プラグを電源ケーブルに接続してから、デジタルカメラDC電源入力端子に接続してください。

SONY製デジタルカメラでご使用する場合は必ず、本体のスイッチ2を4.2Vに合わせてください。その他SONY製以外のデジタルカメラをご使用の場合は本体のスイッチ2を5Vに合わせてください。接続したデジタルカメラの適合及び、本体スイッチ2の切り換えをご確認の上、スイッチ1をONにしてください。



SONY製デジタルカメラ使用時		その他メーカー製デジタルカメラ使用時	
4.2V	5V	4.2V	5V

注意 誤ったスイッチ位置でご使用された場合、デジタルカメラ及び電池パック等の故障の原因となりますので、ご注意ください。



使用上のご注意

デジタルカメラと携帯電話機を同時接続してのご使用は絶対にしないでください。

デジタルカメラは何らかの原因によって記録メディアに記録した画像が突然消失する危険性を有します。本製品を使用し、万一画像が消失しても当社では一切責任を負いかねます。必ずバックアップ保存されたからのご使用をおすすめいたします。ご使用に際しましては自己責任においてご使用いただきますようお願い申し上げます。万一本製品が原因と実証された故障が発生した場合、保証対象は商品及びデジタルカメラや記録メディア本体のみに限らせていただきます。消失してしまった画像については一切責任を負いかねますのでご了承ください。

デジタルカメラと本製品を装着するには必ず、デジタルカメラと本製品をお持ちください。脱落の恐れがあります。メモリアクセス中(画像の書き込み及び、消去等)に本製品の電源ケーブルを絶対に抜かないでください。故障・データ破壊の原因となります。

デジタルカメラに本製品を固定したまま移動しないでください。デジタルカメラや本製品の落下による破損の原因となります。電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。ショート及び新線による故障の原因となります。電源プラグを外す場合はコードを引っ張ったりプラグを外さないでください。コードの新線及び、故障の原因となります。本製品のDC出力端子や入力端子に金属類や引火性物質を入れないでください。火事・感電の原因となります。直射日光の当たった場所、高温の車の中、暖房機の近くに放置しないでください。

本製品に無能力や負荷を掛けないでください。故障・破損の原因となります。水気の多い場所では使用しないでください。また本製品に水等の液体が入った場合にはすぐに、使用を中止してください。感電、故障や火災の原因となります。

本製品や乾電池を小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。

使用済み電池は各地域で定められた方法で破棄してください。

ご使用前に必ず、ご使用のデジタルカメラをパッケージ裏面適合表でご確認ください。

① パッケージ裏面の適合表内で赤色表示されている機種

電源として使用できます。

電源使用 充電使用

本製品では、パッケージの適合表内で赤色表示されているデジタルカメラ本体は充電することができません。

④ パッケージ裏面の適合表内でオレンジ色表示されている機種

デジタルカメラ付属のクレードル(充電台)を使用すれば充電のみ使用できます。

電源使用 充電使用

本製品は直接デジタルカメラに接続できません。本製品が使用する場合はデジタルカメラ付属のクレードル(充電台)が必須です。

② パッケージ裏面の適合表内で青色表示されている機種

電源&充電として使用できます。

電源使用 充電使用

本製品はデジタルカメラ本体に直接接続して使用できます。

⑤ パッケージ裏面の適合表内で茶色表示されている機種

本製品付属SONY用プラグを使用すれば電源&充電として使用できます。

電源使用 充電使用

SONY製デジタルカメラ用プラグを電源ケーブルに接続して、デジタルカメラDC電源入力端子に接続してください。

③ パッケージ裏面の適合表内で白色表示されている機種

デジタルカメラ付属アダプターを使用すれば電源として使用できます。

電源使用 充電使用

電池(パック)を取り外し、本製品を接続する為、充電できません。本製品をデジタルカメラに接続するにはデジタルカメラに付属されているアダプターが必要です。

⑥ パッケージ裏面の適合表内で水色表示されている機種

デジタルカメラメーカー別売アダプターを使用すれば電源として使用できます。

電源使用 充電使用

電池(パック)を取り外し、メーカー別売アダプターに本製品を接続する為、充電できません。本製品をデジタルカメラに接続するにはデジタルカメラメーカー別売のアダプターが必要です。

携帯電話機で安全にご使用いただくために

ご使用方法

① 乾電池を入れます
乾電池は4本とも新品、同ブランドのものをご使用ください。+、-の極性を間違えないようにご注意ください。

② 電話機の電源を切ってください
方々のメモリの消失などを防ぐために、携帯電話機の電源を切ってください。

③ 接続部の中が汚れていませんか？
ほこりなどが詰まっていますと通電しません。

必ずメモリの控えをとってください
電話帳などは必ず控えをとってからご使用ください。

電池パックは装着されていますか？
必ず装着して使用します。電話機本体が壊れる危険があります。

④ 携帯電話機に接続します

携帯電話機によって接続する向きが異なります。適合表内、黒文字の機種は黒色シールが電話機の表面赤文字の機種は赤色シールが表面に向きます。電話機の操作ボタンがある面が表面。

⑤ 充電器を5Vに合わせ電源を入れてください

① 充電電圧を5Vに合わせてください。② 充電電圧を確認後、スイッチをONにしてください。

⑥ 5分待ってから携帯電話機の電源を入れてください
5分待っても電源が入らない場合は、

⑦ 連続2時間以上接続しないでください
電池パックが放電することがあります。

ただちに電話機からはずし(3, 4)を再チェックしてください。

⑧ 使用後は必ず、充電器のスイッチをOFFにしてください

ご使用前にご確認ください

携帯電話機の電源が入りますか？
電話がならぬ場合は、電話機付属の充電器で充電してください。

充電器電圧を確認してください
携帯電話機を充電する場合は、必ず5Vに合わせて使用してください。

デジタルカメラで安全にご使用いただくために

ご使用方法

① 乾電池を入れます
乾電池は4本とも新品、同ブランドのものをご使用ください。+、-の極性を間違えないようにご注意ください。

② デジタルカメラの電源を切ってください
方々の撮影データの消失などを防ぐために、デジタルカメラの電源を切ってください。

③ 三脚固定用ネジ穴に固定
脱落の恐れがありますのでしっかりと固定してください。

④ 接続部の中が汚れていませんか？
ほこりなどが詰まっていますと通電しません。

⑤ DC電源入力端子に接続してください
電源ケーブルをデジタルカメラのDC電源入力端子に接続してください。SONY製デジタルカメラ使用時は付属の

SONY用プラグを電源ケーブルに差してからDC電源入力端子に接続してください。

⑥ 充電器の電圧を確認し電源を入れてください

① SONY製デジタルカメラは4.2Vに、他のメーカーのデジタルカメラは5Vに合わせてください。

SONY製デジタルカメラ 4.2V
4.2V 5V
その他のデジタルカメラ 5V
4.2V 5V

② デジタルカメラによる充電電圧を確認後、スイッチをONにしてください。

⑦ デジタルカメラの電源を入れてください

ご使用前にご確認ください

必ず撮影データのバックアップをとってください
撮影したデータは必ずバックアップをとってからご使用ください。

充電電圧を確認してください
デジタルカメラに充電電圧が必ず

SONY製デジタルカメラ 4.2V
4.2V 5V
その他のデジタルカメラ 5V
4.2V 5V